

解説

**医療機器関係施策の動向について～診療報酬の視点から～**

○中安 一幸<sup>a</sup>

厚生労働省医政局研究開発振興課医療機器・情報室<sup>a</sup>

Kazuyuki Nakayasu<sup>a</sup>

<sup>a</sup> Office of Medical Devices and Information, Research and Development Division,  
Health Policy Bureau, Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan

昨年秋以降、国民にいち早く最先端の医療を提供するため、医薬品・医療機器分野のイノベーション創出のための取り組みを政府として推し進めてきた。本年 4 月には、「新健康フロンティア戦略」及び「革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」などの政策方針を公表したところである。

現在、厚生労働省が中心となり、この方針にそって、具体的な取り組みを進めている。診療報酬については「イノベーションの評価」に関して、先日の中央社会保険医療協議会（中医協）でも議題とされたところである。

以上の状況を踏まえて、医療機器関係施策の最近の動向と今後の方向性について、その趣旨を踏まえながら概説する。